

登録日時	(事務局記入)	登録番号	(事務局記入)
行動チーム名	行動内容：水源から蛇口までを一体とする水インフラ整備を官民連携により推進する「水と緑の連携水インフラ整備支援プログラム」の地方自治体によるモデル事業の推進 チーム名：水と緑の連携インフラ整備事業推進チーム		
行動主体	水の安全保障戦略機構内水と緑の連携インフラ整備支援プログラム研究会（以下、「研究会」という。）を母胎とする同プログラム企画・設計・取引実施推進チーム 代表者 石黒 路明（研究会共同局長、一般社団法人フォレストック協会理事長） 連絡先：（社）フォレストック協会 石黒 路明、高津 邦人 TEL:03-3596-0071 EMAIL: mishiguro@forestcok.or.jp / ktakatsu@forestock.or.jp また、随時必要に応じて、他の研究会共同事務局担う団体或いはフォレストック協会の業務提携先をと連携するものとする		
行動内容	水の安全保障戦略機構による平成 24 年 10 月の提言書における「21 世紀に対応する持続可能な水インフラシステム」に必要な「治水、利水、環境事業を統括的に扱うシステム整備」および「民間資金との連携」の具現化推進を目的とする。具体的には、平成 24 年 10 月から平成 25 年 3 月において実施された研究会における研究テーマである「水と緑の連携インフラ整備支援プログラム」に関し、同研究会成果に基づき、同研究会に登録され導入検討を進める意欲ある地方自治体と共に、同プログラムの活用および導入検討を実施する。 同個別の地方自治体を本プログラムのモデル自治体として同プログラムの研究、導入検討における協調を図ると共に、国内の水インフラ整備推進と水道事業の持続性強化する新しいモデルの構築を目指すものとする。モデル自治体として行動する地方自治体に対して、「チーム水・日本」の行動チームの理念の下、関連省庁間の連携と共に、官民連携を企図していくものである。		
課題分析	以下の課題解決に向け、個別地方自治体の状況を考慮しながら、各個別自治体が安心して導入検討および実施が進められる体制構築が重要である。 <ul style="list-style-type: none"> ● 関連省庁からの取引実施における政策的観点および実務面からの確認 ● 水道事業運営における財務面を含めた民間活用に関する限定的な経験 ● 水道事業・環境・観光政策との連携における自治体内部局連携の実現 ● 流域自治体間の連携の実現 ● 森林クレジットの活用における自治体による主体的関与の必要性 等 		
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● モデル自治体に対し、「水と緑の連携インフラ整備支援プログラム」の導入後においても、政管産学間が連携する「チーム水・日本」の一員として、水インフラ整備や水道事業の持続性に関する継続的な支援を実施すること ● 研究会成果および「水と緑の連携インフラ整備支援プログラム」に関する守秘性が高いことから、参画されるモデル自治体からの研究会登録および守秘同意書が必要であり、その他民間企業からの参加においても同様とすること。 		

注) 記述内容は様式 1 枚に納めてください。参考資料 (図、写真等) は添付 (複数枚可) してください。